

1	(1) 72	(2) 75	(3) 69	(4) 77
	(5) 33	(6) 49	(7) 9	(8) 37
	(9) 21	(10) 49	(11) 6 <small>しゅうかん (週間)</small>	(12) 99 (cm)

2	(1) 土 <small>よう 曜日</small>	(2) 10	(3) 日 <small>よう 曜日</small>
---	----------------------------	--------	----------------------------

3	(1) 36 こ	(2) 28 こ
---	----------	----------

4	(1) 16 <small>てん 点</small>	(2) 10 <small>てん 点ずつ</small>
---	----------------------------	------------------------------

5	(1) 48 cm	(2) 18 cm	(3) 8 cm
---	-----------	-----------	----------

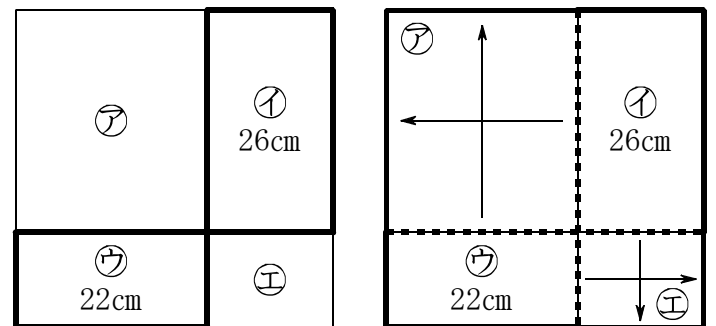
- 1 (6) $\square + 18 = 67 \rightarrow 67 - 18 = \underline{49}$
 (7) $63 + \square = 72 \rightarrow 72 - 63 = \underline{9}$
 (8) $88 - \square - 24 = 27$
 $\rightarrow 27 + 24 = 51 \quad 88 - 51 = \underline{37}$
 (9) $\square + 18 + 17 = 56$
 $\rightarrow 56 - 17 - 18 = \underline{21}$
 (10) $57 - 49 + \square = 57$
 $57 = 57$ より、増減なし。
 よって、 $\square = \underline{49}$ となる。
 (11) 7日 = 1週間
 $42 = 7 \times 6$ よって、 $\underline{6}$ 週間。
 (12) $1\text{m} = 100\text{cm} \quad 10\text{mm} = 1\text{cm}$
 $100 - 1 = \underline{99}$ (cm)

- 2 (1) 1か月に4回だけある月のうち、もっとも小さい日づけから始まっているのは土曜日。よって、たした結果も土曜日がもっとも小さくなる。
 (2) よこを比べてみる。
 1 週目…0 (なし)と2で2だけ木曜日が大きい。
 2 週目…7と9で2だけ木曜日が大きい。
 3 週目…14と16で2だけ木曜日が大きい。
 4 週目と5週目も2だけ木曜日が大きい。
 よって、差は $2 \times 5 = \underline{10}$ となる。
 (3) $29 - 7 - 7 - 7 - 7 = 1$
 令和2年2月は土曜日から始まり、その土曜日だけが5回ある。よって、4回ある曜日のうちもっとも小さいのは2日から始まる日曜日になる。

- 3 (1) ご石を合わせたこ数を数えると、
 1 番目の図…9こ $\rightarrow 3 \times 3$
 2 番目の図…16こ $\rightarrow 4 \times 4$
 3 番目の図…25こ $\rightarrow 5 \times 5$
 このようなきまりがある。
 よって、4番目の図は $6 \times 6 = \underline{36}$ (こ)
 (2) 白のご石のこ数を数えると、
 1 番目の図…8こ
 2 番目の図…12こ $\rightarrow 8 + 4$
 3 番目の図…16こ $\rightarrow 12 + 4$
 このようなきまりがある。
 よって、6番目の図は
 $16 + 4 + 4 + 4 = \underline{28}$ (こ)

- 4 (1) 7点になるのは、 $1 + 2 + 4$ のみ。
 このとき、かずや君は3, 5, ★。
 よって、 $3 + 5 = 8$ (点) $8 \times 2 = \underline{16}$ (点)
 (2) $1 + 2 + 3 + 4 + 5 = 15$
 右の図のように、★を持つた人が、持っていない人のちょうど半分になれば、2倍したときに同じ点数になる。 $15 = 5 + 5 + 5$ より同じ点数になるのは、 $5 + 5 = 5 \times 2$ のときの $\underline{10}$ 点ずつ。

- 5 (1) 問題文より、長方形㊶と長方形㊷に注目する。下の図のように、合わせるとちょうどもとの正方形とまわりの長さが同じになる。



- よって、 $22 + 26 = \underline{48}$ (cm)
 (2) (1)は、長方形㊶と㊷でも成り立つ。
 $48 - 30 = \underline{18}$ (cm)
 (3) $48 = 12 + 12 + 12 + 12$
 よって、もとの正方形の1辺の長さは12cm。
 $30 - 22 = 8$ (cm) $8 = 4 + 4$
 長方形㊶のたては、長方形㊷のたてより4cm長い。
 $12 - 4 = 8$ (cm) $8 = 4 + 4$
 よって、 $\overline{\quad}$ は4cm。
 長方形㊶のたては、 $4 + 4 = \underline{8}$ (cm)

(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10